

平成27年度
事業報告書

社会福祉法人有隣会

特別養護老人ホーム梅里苑

指定短期入所生活介護事業所

指定介護予防短期入所生活介護事業者

有隣会居宅介護支援事業所

特別養護老人ホーム梅里苑 平成 27 年度事業報告

事業計画に基づき入居者の能力に応じた自立支援を基本として、サービス計画書を作成し、それぞれの思いができるだけ実現できるように支援し、心身の状態が維持できるように努めた。また、行事やクラブ活動、各ユニットで様々な活動を行い、充実した生活が送れるように配慮した。

入居者等の状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

入所定員 長期入所 70 名・短期入所 8 名

（1）出身別

（単位：名）

	三刀屋町	木次町	加茂町	大東町	掛合町	吉田町	奥出雲町	松江市	計
男	8	3	2	1	1	1	0	0	16
女	34	6	2	8	2	1	0	1	54
計	42	9	4	9	3	2	0	1	70

（2）年齢別

（単位：名）

	男	女	計
60～69 歳	2	0	2
70～79 歳	1	2	3
80～89 歳	8	28	36
90～94 歳	1	11	12
95～99 歳	4	10	14
100 歳～	0	3	3
計	16	54	70

（3）年度中の入居者移動状況

入苑	10
死亡	7
退苑	3

平均年齢 88.3 歳 平均介護度 4.21

（4）短期入所利用者数

（単位：名）

	利用者数	利用延べ人数	月	利用者数	利用延べ人数
4 月	33	202	10 月	35	232
5 月	33	233	11 月	33	209
6 月	34	229	12 月	29	185
7 月	30	236	1 月	28	227
8 月	39	235	2 月	35	215
9 月	31	245	3 月	30	243

稼働率 91.9%（空所利用含む）

今年度は定期利用者の入院や施設への長期入苑、また週末希望者が重なり受け入れができないこともあった。そのため平日の利用者が少なくなり、稼働率が低下した。

（5）各委員会を設置し業務内容の改善や質の向上を図る

①排泄委員会

高齢、重度化に伴い排泄用品の利用者が多くなったが、個々の状態に合わせたパット使用や交換時間を各ユニットで随時検討し皮膚トラブルも少ない。また排便コントロールも看護職員と連携し取り組んだ。

②新聞委員会

入居者の生活の様子を主に記載した「うめのさと」を家族、地域へ年 2 回発刊。今年度よりホームページも開設し、梅里苑の情報をより多くの方に閲覧できるようにした。

③褥瘡・感染予防委員会

インフルエンザ（入居者 1 名・職員 5 名）の発症があった。面会者へ貼り紙等で予防対策を周知し、職員もマニュアルに沿った対応で入居者への蔓延は予防できた。

他、身体状態の低下等で褥瘡の発症が 2 名となり、褥瘡予防マットの購入や定期皮膚科受診と毎日の処置で軽減している。

④身体拘束廃止委員会

身体拘束廃止に向けての取り組みで 4 名（ミトン、4 本柵）が廃止となる。

現在、介護服着用者 1 名の身体拘束廃止に向けて取り組んでいる。

⑤リスクマネジメント委員会

事故、ヒヤリハットの集計から転倒、剥離、服薬忘れが多かった。内 2 件の重篤な事故（骨折）については雲南市へ報告する。居室での事故対策としてセンサー設置が多くなった。昨年度より件数は減少しているが、様々な原因を洗い出して予防対策を共有し、一人一人が意識を持ち取り組んでいくことが防止に繋がると思われる。

⑥研修委員会

苑内研修・自主勉強会 10 回、苑外の研修 14 回に参加し、職員の専門性を高め、知識、技術の習得に努めた。また職員チェックシートを作成し年 2 回接遇についての自己評価を行い、意識改革に取り組み全体的に良くなっていると思われるが、継続することでより良いサービスに繋げて行きたい。

⑦医療的ケア対策推進委員会

口腔内の痰吸引・経管注入者に、看護職員と介護職員の連携による医療的ケアを実施し、体制、手順等の検討と見直しを随時行い安全に対応ができたが、医療管理の必要な方の増加で負担が多くなっている。

H27 年度対象延べ人数（胃ろう経管栄養 12 名・鼻腔経管栄養 6 名・痰吸引 16 名）

⑧地域交流委員会

絵手紙、三刀屋高校 J R C、納涼会、笹巻、餅つきの交流ボランティアや、掃除、布切り等の奉仕ボランティアの受け入れ、また三刀屋高校文化祭、三刀屋中学校体育祭、仁多でのコンサートに招待され地域との繋がりを大切に活動した。地域の方との交流を楽しみにしている方も多く、今後も出掛ける機会を多くしたい。

(6) 行事・食事について

体調不良や機能低下により食事形態の変更が多かったが、できるだけ個々の嗜好を反映させ、季節感のある食事作りを実施し喜んで頂いた。またユニット調理では炊飯、鍋、お菓子作り等でより家庭的な雰囲気を感じてもらえるように取り組んだ。

4 月 花見会 花見ドライブ 5 月 運動会 6 月 昼食バイキング 7 月 七夕 喫茶会
8 月 納涼祭 9 月 法話会 10 月 長寿祭 12 月 クリスマス忘年会 餅つき
1 月 新年会 白寿米寿喜寿祝会 2 月 喫茶会 3 月 お経の会 お茶会

(7) 健康管理

外来受診回数

(単位：名)

	内科	外科	整形外科	脳外科	リハビリ科	泌尿器科	皮膚科	眼科	循環器	神内科	耳鼻科	婦人科	精神科	計
平成記念病院	84		27		4	42	57	20	11	6	5	4		260
雲南市立病院		7		3			1				1	2	5	19
島根医大病院						5	1							6

他コスモ病院 6 名 玉造厚生年金病院 1 名

前年度と比べると泌尿器科と皮膚科の定期受診の方や長期入院される方が多く、入院治療が必要なため 3 名が退苑された。

(8) 相談・援助

苦情2件（職員の接遇と入居者の情報漏えいについての指摘）

苦情内容については早急に検討を行い、全職員に周知し注意喚起した。

(9) クラブ活動など

福寿会にて入居者の要望を聞きながら検討し、より楽しく充実した生活を送って頂けるよう働きかけた。

（習字、園芸、いきいき活動、お経の会、絵手紙の会、音楽療法） 活動内容によってはできる方が少なくなり、参加人数が年々減少している。音楽療法やいきいき活動は全員対象でもあり参加人数が多かった。

(10) 実習生

今年度から実習担当を各ユニットに配置する。実習体制の見直しを行い、人材教育の一環を担っている認識を持ち、全職員の協力のもとに実習生を指導した。

	人数	延べ日数
トリニティカレッジ 出雲医療福祉専門学校	2名	30日
島根総合福祉専門学校	2名	37日
三刀屋高校地域産業研究	2名	6日
ホームケア ヘルパー研修	1名	27日
「夢」発見ウィーク雲南市中学校職場体験学習	2名	6日

(11) 基本的人権・尊厳を尊重した安心、安全な個別ケアの施設運営の方針に基づき、随時開催するケア会議に家族参加を依頼し、また福寿会（入居者の皆様）と家族会（ご家族様）で皆様の意向を聞き、質の高いケアに繋げるように努力しました。